

濱三郡 少年野球

濱三郡少年野球大会は地方運動競技会の一異彩として迎へられ、逐年人気の沸騰を見つゝあるが、その第八回は来る十四日の日曜をトし平町高月臺の警中球場において開催さるゝ事となつた、而かも本年の出場チームは濱通りの代表チームといはんよりは寧ろ縣下少年野球の覇者として見るべき平第一校と高坂と即ち石城郡下の氷壁に配するにこれ又縣下の少年球界を習伏せしめてゐる相馬郡の小高校を以てするのでこの縣下における三雄鼎立の接戦は蓋し地方少年野球空前の壯觀として必ずやファンをして熱狂せしめずにはおかぬものがあらうと観られてゐる、試合の方法は前記好個の對戦をより多く意義あらしめ且興味あらしむべく普通抽籤の方法によらずリーグ戦により最後の勝敗を決する事となつた。

自動車衝突 老婆負傷

十一日午前十一時頃平町の塵芥運搬トラックが同町字下河原神成國雄が運轉し疾走中前方の乗合自動車を追ひ越さんとして左側の石垣に衝突し居合せた石城郡飯野村字北白土上田トク(四四)に負傷させたので平署では引致取調中。

戸籍のない女

哀れな女
十日午前十時頃平町役場戸籍受付口に三十五六歳の女が現はれ自分の子供の死亡診断書を出

し埋葬許可證を請求したが吏員が原籍その他尋ねた處仙臺市生れとのみで要領を得ず調査の結果平町鎌田町木賃宿屋方居住齋藤よし(三三)といふ低能女である事判明したが本籍も何もない事とて役場では處置に困つてゐる。

時報文藝 「火精珠」鈔

津川公治
▲憂 愁
わが魂、若ざめて
涙しなき憧憬に
故わがすすゝりなく。
閉ざされし窓に縋りて
廻なる光り欣求へば
わが心ひだぶるに憂ひ哀しむ
ああ、憧憬こそ憂愁の因なれ

鳥節御料理 蒲魚焼

半町南町平館隣り
電話四二四番
▲秋夕の賦
ひそやかに忍び寄れる秋は
落日の殘照の中に光りなく、
熱もなく燃え
たそがれの樹の葉に顫わ
さては虫の聲に溢れる
青草の春の朝の接吻
眞夏の夜の息づまる抱擁
副々と落葉が大地に洗ひとき
女よ、おまへと一緒に
私の光と情熱も逝つてしまつ
た。

▲月光と薄
ああ、薄の葉が
りんりんど
月光を研つてゐる。

内科・外科・耳鼻
咽喉科・花柳病科
高久病院
院長 高久 忠
平町 電話一三五

スター好 ナフール
ナフール實用尺
フットン地
秋物入荷
平 亀田屋
電五七

榮共ト存共△
融金ノ易簡△
蓄貯ノ味趣△
堅固ト意誠△
平町南町平館隣り
電話四二四番

大和田醫院
耳鼻咽喉科
電話一七〇番

菊の秋!
御大典の秋!
國民奉祝の秋!
記念に... 禮式靴... 御新詠を
△(弊店は常に新し味の有る形と製
法・堅牢・低廉とをモットとす)
學生靴... 特價提供
平町南町 電話七〇二番
大塚支店 製靴部
運動員部

セキの薬
祛痰
鎮咳液
特約内閣
局藥内閣
番〇四話電 目丁四町平

電話八四二番
田町 宇佐美藥局
(賣藥金壹圓以上御買上客に金貳拾錢の商品券進呈)

君はいゝ型の
洋服を求めら
れたね。詠かへ?
いや君コレは例の
ソレ正札堂さ
平町南町 電話一七〇番
通場車停町平
堂札正

◆超特別大興行◆
改造社發行・世界大衆文學全集第一回配本
賜登宮殿下御臺覽 各國教育家激賞
文部省推撰映畫

大文藝映畫
主演ウヨシーリスレ年少才天 作原一ロマルトクエ蒙文大
◆篇譽名高最の動叙府政國佛◆
家なき兒
◎書科教の情は世◎ 卷二十全
援後
平映畫フアン聯盟
平文藝協會
平書籍販賣店一同
在平新聞社
陣容一新の解説部 新加入 白原春華、月岡一骨
特別大興行に付き 町田英二、鈴木一華
入場料 特等六〇 一等五〇 普通四〇

月形龍之助
獨立第一回
帝キネ特作
后キネ特作
歌川八重子
杉村チエ子
十月十二日ヨリ十八日マデ 午後六時開館
土曜日曜晝夜 高級有聲座
各書店にて割引券進呈 常設有聲座
酒毒の劍法
狂戀の馬子唄
涙の馬子唄